

ASUMIN NOTE

[あすみんノート]

2017 Winter

No.

10

Diversity adds value

Special Issue

多様性をまちの力に

Voice

五十嵐ゆり (NPO法人Rainbow Soup)

GOOD ACTIVITY FILES

特定非営利活動法人ともに生きる街ふくおかの会

特定非営利活動法人アベル

特定非営利活動法人女性エンパワーメントセンター福岡
NPO百千鳥

@DATA

外国籍者伸び率、日本一

Asumin Information

Asumin Recommend

専門相談

Hondana!

合理的配慮 -対話を開く,対話が拓く

Organization Introduction

登録団体紹介:登録番号535~560

多様性を まちの力に

ASUMIN NOTE NO.10

Special Issue

Diversity adds value

*Diversity…「多様性」などの意味を持つ英語。労働における「人材の多様さ」の概念などとして用いられる場合がある。

今回のissue(論点)は、ダイバーシティ。従来は“社会的マイノリティ”の権利や就業機会の拡大(差別のない処遇の実現)など、その存在をフォローするために使われることが多い言葉でした。しかし近年では、その捉えられ方は進化を遂げ、性別や人種の違いに限らず、あらゆる“多様性”を社会が受け入れること、そして人材として活用し、都市の生産性を高めようとする考え方にまで広がりを見せています。

このダイバーシティという視点は、一見するとなかなか実感の湧かない大きな概念のように見えてしまいがちですが、私たちのまち福岡で起きている身近な物事にも、そのヒントは多くあります。その反面、思わぬ差別や偏見で未だに苦しんでいる方が多いことも事実です。まちの中に潜んでいるさまざまな多様性を“まちの力”にする。一人ひとりの少しずつの理解や勇気ある一歩が、社会に新しい仕組みや活力を生み出していることを実感してみましょう。

●ダイバーシティの実現に向けたキーワード

〇〇の活躍推進

女性や若者・高齢者・外国人などが活躍できる社会を実現するためには、企業(雇用主)の経営層がその意義を理解し、リーダーシップを発揮しながら、「経営戦略」としてアプローチする必要があります。近年、それぞれの特性を踏まえた適切で有意義なフォローアップも加速しています。

障がい者雇用

近年、障がいを持つ人の就労意欲は急速に高まっており、障がい者が職業を通じ、誇りをもって自立した生活を送ることができるよう、雇用対策も進んでいます。また、障がいを持つ人への職業訓練や職業紹介、職場適応援助者等も整備され、それぞれの障がい特性に応じた仕事の場を生み出しています。

LGBT(エル・ジー・ビー・ティ)

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとった性的マイノリティを表す総称。大手広告代理店が2015年に約7万人を対象とした調査では、7.6%(約13人に1人)が当事者に該当すると答えました。これらは、本人の意思では変えられないもので、趣味や一過性のもものではありません。

長時間労働

日本の長時間労働者の構成比は、先進国ではトップの21.3%。これは、フランスやドイツの2倍の数値です。日本の働き方の仕組みが、仕事と子育ての両立を困難にしており、女性のキャリア形成や男性の家事への参加を阻んでしまう要因の一つとなっています。

VOICE

ボイス

NPO法人Rainbow Soup

五十嵐ゆりさん Yuri Igarashi

活動の「きっかけ」は？

初めてのLGBTコミュニティとの関わりは、女性限定のクラブイベントです。1~2ヶ月に一回、100人規模で女性同士の出会いが欲しい人たちが集まって楽しめます。私はそんな場所の主催やDJをしていました。だけど、仲

間たちもみんな一緒に歳をとります。私も30代後半になって、楽しいけどこればかりでいいのかと思うようになりました。将来について話した時、同じ老人ホームに入って助け合おうみたいな冗談を言って盛り上がっていました。だけど、誰かが旗振り役をするわけでもなく、話だけで終わってしまう。今は楽しいけど、刹那的だし、もうちょっと何か足りないと、みんな感じていたと思います。当時はまだ、ダイバーシティという言葉すらない時代。だからこうやって、カミングアウトして人前でお話するなんて、全く考えませんでした。講演とか啓発とかが必要だとわかっていな



今回のvoiceでは、LGBTに関する啓発活動や性的マイノリティの

い。なんとかしたいけど、手段はわからなかったんですね。

る」「社会に発信する」という2つのポイントが見えて来ました。

なぜ、団体を作ったのですか？

そんな時、LGBTの当事者をサポートする行政書士さんから「やりたいことの実現にはNPO法人がいい」と言われ、知識はないけどやってみることに。学ぶうちに、当事者が抱える社会的困難の背景がわかってきました。例えば同性カップルで、片方が事故や病気で意思表示もできなくなった時、残された方がパートナーだと証明する方法は、誰かにカミングアウトしていない限りないんです。パートナーとも友達とも言えず、お見舞いも病状を聞くこともできない。パートナーの家族からは怪しいとか、金を巻き上げるつもりじゃないと言われてたり。2人で一緒に住んでいたマンションや貯金を全部失うことも起きています。それって結局、法的に相続できないからなんです。DVを受けて警察に相談に行き警察官から二次被害を受けたケースもあります。本当は、警察には弁護士と一緒にに行けるのに、私たちって知らないんです。いろんな活動をするうちに、「自分たちの知恵をつけ

「課題」はありますか？

今もなお社会に根強い偏見があるので、LGBT当事者であることを自覚するだけでも難しさがあります。同性を好きになることや、身体の性に違和感を抱くのはおかしいことと思っていて、当事者であることを受け入れるのが難しい人もいます。特に年齢の高い世代には、異性と付き合ったら、結婚したら治るかもしれないと。ずっと自分のアイデンティティに嘘をつきながらも、絶対にカミングアウトしないと決めている方もおられます。

「職業選択の自由」という側面からも多くの課題があります。トランスジェンダーの方が、入社時に女性用の制服を着なければならず就職を諦めたり。見た目は男性だけど、戸籍が女性だと公的な書類も出しづらかったり。カミングアウトできない事情のある人は、書類を出さなくていい非正規雇用の仕事を選びがち、という状況です。やる気もあって、若くて、申し分ない人の活躍の場が制限される。その人の自己実現や会社への貢献度は

GOOD ACTIVITY FILES

グッド・アクティビティ

09

異文化間の相互理解を進め、
多文化共生の街へ

特定非営利活動法人 ともに生きる街ふくおかの会

この会は、多様な文化的背景を持つ人々がともに認め合い、尊重し合って豊かに生きられる“多文化共生の街”の実現を目標に活動しています。とくに、学校や地域での教育に関する課題に積極的に取り組んでおり、定期的な学習会や情報交換会による普及・啓発や多様な文化を持つ子どもたちの就学・進路相談会などを行っています。最近では、香椎浜公民館主催の「香椎浜発・多文化のまちづくり講座」を共催。講座や交流を進めています。



10

女性の自立を支える
精神的、経済的、社会的エンパワーメント

特定非営利活動法人 女性エンパワーメントセンター福岡

特定非営利活動法人女性エンパワーメントセンター福岡は、世界中の女性の人権が守られ、その可能性が抑圧されることなく発揮できる“男女平等社会の実現”を目指した活動を行っています。外国語教室やシェルター、県内各地における日本語教室の開設、通訳支援、多言語相談サポート、電話相談対応、フェアトレードによる途上国女性の自立支援など、アジア地域をはじめとした世界の女性とつながりながら、幅広い活動を行っています。



測れませんが、それよりも前に就職すら諦めてしまう現状があります。私も自分がレズビアンか



もしれないと自覚した中学生の頃、カミングアウトしている当事者の大人を知らなかったのが、本当にこのまま社会人になれるのかと、漠然とした不安を抱えていました。社会の多数派の方々の意識をいかに変えていくかが、今後の変化のカギを握っていると思います。

カミングアウトが、第一関門なのですね？

数年(2013年頃から)前にレズビアンであることをオープンにしてから、講演などの依頼が集まりはじめました。紹介から紹介…と、新聞の連載や映画の上映イベントなど、できることも広がりました。私の場合、一番最初にカミングアウトしたのは母親で、「大丈夫。気にすることは無い」と受け入れてもらったのを機に、父や姉に伝え、今では家族全員が知っています。家族に嘘をつかなくていい、という安心感は私にとって本当に大きい。

母親は、あの世代には珍しく当事者の知り合いがいて、そういう人も知っているんですね。ですが、カミングア

ウトが、幸せなことかは人によります。最初にカミングアウトした相手はどう反応するかは、その後の人生に大きな影響を与えるのではないかと思います。

私たちの調査では、当事者の約6割が義務教育期間までに自覚する、というデータがあります。だから、お子さんをもつ世代とか、子どもと接する機会が多い人には、実態や適切な情報・対応方法を知っておいてほしいんです。たとえば、家族にカミングアウトして強烈な拒絶にあったとか、自分はこの社会に必要とされてないと、孤立感を深めている方が多いことを。結果として、メンタル的な問題を抱えている人や、仕事につけず生活保護を受けている人もいます。いわゆるダブルマイノリティとして様々な困難を抱えるケースもあります。あるゲイ当事者を息子にお持ちのお母さんが「もっと早くLGBTについて知る機会があったら良かったのに。分かっていたら、息子をこん

なに苦しめることもなかった」とお話をしていたのが、印象的です。

「これから」の展望は？

LGBT、特にトランスジェンダーの方にも使いやすい公共トイレについての課題に取り組むうちに、障がい者の方や病気をもちの方にも、トイレに関してだけでもそれぞれ違う課題や困り事があるのを知りました。トイレに関するいろいろな困り感を、困っている人同士で対話することによって、より良い解決法のヒントが見えてきたり、共感の輪が広がることを実感するようになりました。

例えば「いじめの問題」を解決したいという気持ちは、誰でも同じですよね。違う立場の人同士で、連携できることがあると思うのです。そういう発想で、私たちも「自分たちだけで」ではなく、もっと外にアプローチをしていく段階に入ってきていると感じています。

周りにも悩んでいる人が、いる気がしてきました。

LGBTについてまったく知らないままカミングアウトを受けた時、す

ごく動揺したり、戸惑うこともあると思います。だけど、知り合いに当事者が一人いるだけで、意外と慣れてしまうものでもあります。社会にはLGBT当事者が当たり前にいる、と思っている人が増えることは、多様性が尊重されお互いが安心して過ごせる環境づくりにもつながると思います。

希望的観測ですが、せめて10年後には、なんらかの法律ができていることを期待しています。というものは、法律や仕組みが整うことによって、人の意識も変わっていくからです。LGBTに限らず、女性の活躍や障がい者支援にも言えることですが、多様な市民を支援する仕組みが整い、誰もが安心して過ごせるようになれば、まちはもっと元気になると思います。

NPO法人 Rainbow Soup

九州・福岡でLGBTに関する情報発信や啓発活動に取り組む。LGBTの課題を可視化しながら、支援の輪を広げ、ユニバーサル都市・福岡の実現に貢献する取り組みを進めている。

<http://rainbowsoup.net>

イ・ファイル

このコーナーでは「社会にイイ活動=Good Activity」を行っている団体をご紹介します。ボランティアに参加したいときや、自分たちの団体とつながる仲間を探すときなど、ぜひ参考にしてください。

11 発達障がい者に特化したカリキュラムで “人間力”を引き出す

特定非営利活動法人アベル

特定非営利活動法人アベルは、発達障がいを持つ方を「障がい者」と決めつけるのではなく、誰もがもつ「人間力」を信じ、人材育成の視点から人づくりに取り組んでいます。相談事業、就労継続支援B型と就労移行支援でトレーニングし、“人間力”を引き出しながら社会へ送り出しています。

2017年4月から、福岡市との共働事業に取り組み、18歳以上の発達障がいを持つ方や人間関係に悩んでいる方の就労や自立を支援しています。



12 日本文化を通じて、 多様性を包み込むゆたかな社会を応援

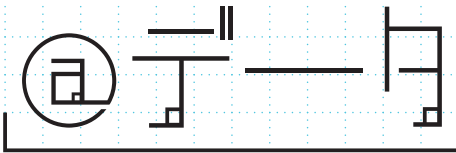
ももちどり

NPO百千鳥

NPO百千鳥は、日本文化の豊かな広がりやを育むことで、多種多様な文化が花開く世界の実現に向けた活動をしています。「世界の中の日本人」に焦点をあて、価値観や文化的背景の“ちがいを”尊重した取り組みを展開。普段



なかなか和の文化に触れるきっかけが少ない、子どもや外国人、障がい者を対象に、本格的な和の文化体験イベントを開催しています。日本の文化や習慣を知ること、他国の文化や習慣も尊重できるようになることを目指します。



「@データ」は、市民公益活動に関わるさまざまな「データ」をもとに、詳しい方の意見を聞いたり、考えるきっかけをつくるコーナーです。

Tag:

#外国籍者伸び率、日本一

～多様性を認め合うまちを目指して～

教えてくれた方

福岡市市民局
人権推進課

梶原慶子 さん

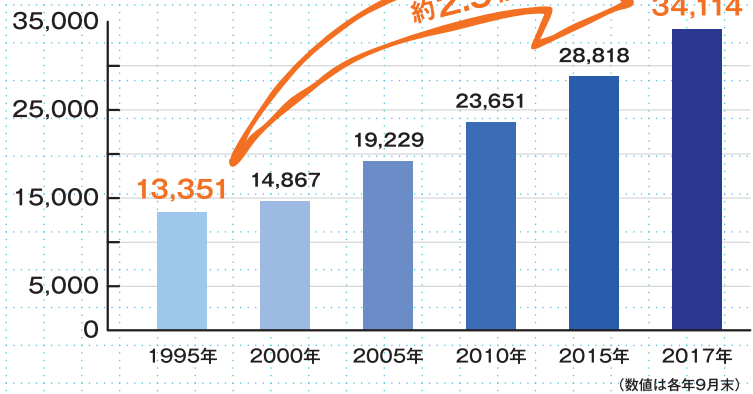
Keiko Kajihara



福岡市は
多様性があるまち

★Data1 20年前と比べると2倍以上! 福岡市の外国人登録者数推移

出典:福岡市統計書、ふくおかの統計



いろんな側面から、社会の多様性 を見ることができます

さまざまな分野において“多様性”を受け入れ、広く人材として活かそうとする考え方や取り組みへの注目度が高まっています。

例えば、福岡市の外国人の登録者数は、1995年の13,351人と比べて、2017年は約2.5倍となる34,114人(Data1:福岡市調べ)。短期間で急激に増加しているため、外国人が過ごしやすい環境づくりという面では、さまざまな対応が必要となります。また、全国的に少子高齢化がすすむ中、福岡市は比較的若者の割合が多いのも特徴です。1世帯あたりの子どもの数は減少しつつも、子どもを持つ世帯自体は増加する傾向にあります。核家族化も進む中、子どもを安心して生み、育てられる環境づくりにも大きな課題があると言えます。

外国籍人口の伸び率、日本一 福岡はグローバル化の先進地

そして、福岡市に目を向けると、外国籍人口の伸び率が、日本の三大都市(東京23区、名古屋市、大阪市)を引き離し、1位となっています(法務省在留外国人統計、福岡市住民基本台帳より)。最近、まちで多くの外国籍の方を見かけるようになりましたが、実は日本でもっともグローバル化が進んでいる都市とも言えます。

これからの社会には、人種や国籍・宗教・文化などの背景が異なる人たち、そして女性

や若者・高齢者・障がい者なども含めた、あらゆる人が活躍できる“多様性”が求められています。

目に見えないマイノリティとして、 向き合うべきLGBTの存在

多様性を考える上で欠かせないのが、LGBTをはじめとする性的マイノリティの存在です。他のマイノリティと比べて、外見では認識されにくく、また、社会的理解が不十分なことから、思わぬ差別や偏見を受けることも多いようです。アンケート調査(Data2:特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ調べ)によると、求職活動で困難を感じたことがある方が、LGBで44%、Tで70%という結果が出ています。また、心ない言動で傷ついたり、同性パートナーの場合に家族向けのサービスが受けられないなどの困難も生じているようです。

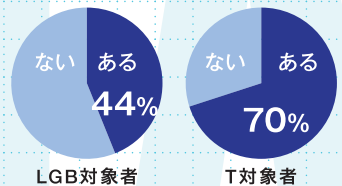
福岡市では、多様性を認め合うまちの実現を目指しており、性的マイノリティの支援について、同性カップルの存在を公的に認める「パートナーシップ制度」の導入を含めて検討しています。

国際社会では、性的マイノリティへの公的支援に先進的な事例があります。また、2014年にオリンピック憲章の差別禁止規定に「性的指向」が追記され、2017年東京オリンピック・パラリンピックの「持続可能性に配慮した調達コード」には、性的少数者への配慮が盛り込まれ、ダイバーシティ・インクルージョンの観点を重視することが記されています。

★Data2

性的マイノリティであること に関連して求職活動に困難を 感じたことがある方の割合

困難を感じたことが・・・



出典:LGBTと職場環境に関する
アンケート調査2016

©Nijjiro Diversity, Center for Gender
Studies at ICU 2016

パートナーシップ制度とは

LGBTなど性的マイノリティのカップルを公的に認める制度です。2015年東京都渋谷区と世田谷区の導入をはじめとして、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市で導入されています。証明書自体に法的な効力はありませんが、存在の可視化につながるなど、社会的理解の促進が図られています。また、これまで受けられなかったサービス(現状では、一部の民間)を受けることができるようになります。

あすみんのオススメ

Asumin Recommend

専門相談

組織運営や助成金獲得、情報発信など、団体に関するさまざまなお悩みについてじっくり相談できる「専門相談」を実施しています。団体運営のちょっとした不安から、なかなか解決できない課題まで、各分野の専門性をもった経験豊富な相談員が対応いたします。相談時間は50分、料金は無料です。事前予約制となっており、相談内容を事前に電話でうかがい、相談員のマッチングを行います。お気軽にお問合せください。



日時: 毎月第1、第3水曜日(14:00~17:00)
第2水曜日(18:00~21:00)

場所: あすみん

※参加には、事前申し込みが必要です。あすみんまでご連絡ください。

ホンダナ!

Hondana!

あすみんの図書コーナーに所蔵している書籍をご紹介します!

合理的配慮 ー対話を開く、対話が拓く



ISBN:978-4-641-17422-1
定価:2,916円(2,700円+税)
判型:A5判並製カバー付
ページ数:268

とくに、障がい者の分野で耳にするようになった「合理的配慮」。この本では、対話を通して、配慮を受ける側が直面する社会的障壁と、それを除去する手立て(合理的配慮)が必要なプロセスが、わかりやすく解説されています。この考え方が、将来的には社会のルールや慣行を変容させ、多様性を肯定できる社会を作るヒントとなることを学べる一冊です。

【著者】川島聡・飯野由里子・西倉実季・星加良司
【発行】株式会社有斐閣
【発行年】2016年

登録団体紹介

Organization Introduction

あすみに登録された団体を紹介します。(登録番号535~560)

- 「Mama Café & 共育コーチング」実行委員会
- 特定非営利活動法人エコネットふくおか
- 日本ハートフルマネジメント協会
- 特定非営利活動法人地域福祉医療協会
- A.P.C福岡
- 警固英会話発音4レッスン
- 日本ケルト協会
- 今津校区自治協議会
- PC文字通訳ロゴス
- 最幸のパートナーシップ研究所
- 特定非営利活動法人グローバルライフサポートセンター
- 九州ライフコーチング研究会
- 翼会
- NPO法人自助サポートセンター
- 自分力向上委員会
- たぬき~生涯現役塾~
- キャリアマインド
- 特定非営利活動法人ふくおかウェブサービス
- 舞鶴古文書会
- 特定非営利活動法人日本医学ジャーナリスト協会
- 西日本支部
- やまと創経塾
- 福岡友の会
- 公益財団法人AFS日本協会 福岡支部
- H・T・M(Happy Thanks Movement)
- 特定非営利活動法人子どもと保育研究所ぶるほ
- 「mif塾」実行委員会

利用団体登録・更新について

check!

あすみんでは、施設やサービスを利用される団体に関して、利用団体登録をお願いしています。**福岡市内で活動し、市民公益活動に取り組む団体(主にNPOやボランティア団体)が対象となります。**登録に必要な書類は、下記の(1)~(6)になります。ご記入のうえ、窓口までお持ちください。また、(7)、(8)は登録の際にご持参ください。登録申請時には、書類の確認・面談を行います。

登録に必要な書類

- (1)福岡市NPO・ボランティア交流センター施設利用許可申請書(団体)
- (2)団体の運営に関する規則(定款、規約、会則等)
- (3)活動計画書
- (4)これまでの活動実績がわかる資料
- (5)役員名簿
- (6)自己チェックシート
- (7)印鑑
- (8)申請者本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)

福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住所】〒810-0021 福岡市中央区今泉1-19-22 天神クラス4F

【TEL】092-724-4801 【FAX】092-724-4901

【MAIL】info@fnvc.jp 【HP】http://www.fnvc.jp

【開館時間】月~土曜 10:00~22:00 日・祝日 10:00~18:00

【休館日】第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日

【facebook】https://www.facebook.com/asunoshimin/



HP



facebook



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- 地下鉄をご利用の場合 ●七隈線「天神南」駅 1番出口から徒歩6分
- バスをご利用の場合 ●西鉄バス「今泉1丁目」徒歩1分
- 電車をご利用の場合 ●西鉄福岡(天神)駅 南口から徒歩5分